

校名の決定方針について

1 意見の聞き取り方法と今後のスケジュール

(1) 意見の聞き取りの対象と内容

下記の表にある団体に、次に示す校名(案)それぞれの良い点、良くない点の聞き取りを行う。

校名(案) ①笠原小中学校 ②笠原学園 ③笠原小中一貫校
④笠原義務教育学校 ⑤その他(具体的な名称を出していただく。)

(2) 今後のスケジュール

関係団体からの意見をもとに、各校名の良い点、良くない点を総合的に勘案し、教育委員会内での協議、市役所内での協議を経て、10月下旬に校名を決定する。

※条例改正は令和7年度の予定のため、それまでは引き続き仮称となる。

	6月		7月		8月		9月		10月		11月	
研究会		12回					13回				14回	
区長会					●							
(幼)育友会							各団体から意見の聞き取り					
(保)育友会												
(小)PTA												
(中)PTA												
(小)児童会												
(中)生徒会												
NPOまいて												
その他												

<参考>第12回研究会での意見

① 笠原小中学校 … 8 / 14名

- 小学校と中学校がひとつになったという学校の成り立ちがわかりやすい。
- これまでの名称と大きな変化がなく、馴染みやすい、違和感が小さい。
- △中学生は、特に対外試合等で校名に小が入ることに抵抗があるのではないかと。

② 笠原学園 … 3 / 14名

- 全国的な傾向からするとメジャーである。
- 新しさを感じる。
- △学園って何?という馴染みのなさから抵抗を感じたり嫌がったりする子ども多いのでは。
- △私立学校と間違えそう。(市内に溪泉学園、瑞浪市に安達学園等)

③ 笠原小中一貫校 … 2 / 14名

- 名前からどんな学校かをイメージしやすい(名は体を表す)。
- △子どもには馴染みがなく、やや難しい。

④ 笠原義務教育学校… 1 / 14名

- 9年間の義務教育期間に通う学校でありわかりやすい。
- △堅いイメージ
- △義務は大人が負うもので児童生徒には関係がない。